

2019年自転車生産・輸出入状況

2019年の自転車生産・輸出入状況は、生産台数が前年比2.8%増、輸入台数が同0.9%増となり、国内向け数量(生産台数+輸入台数)は同1.2%増となっている。年間の国内向け数量は、過去5年では2015年の802万台から、2016年の779万台、2017年の767万台、2018年の704万台と4年間継続して減少した後、2019年は2018年を若干上回り712万台となった。輸出は殆どが中古車で、対前年比1.4%増の311万台となった。

販売面では、当協会が実施している自転車国内販売動向調査結果によれば、2019年に1店舗当たり平均総販売台数が前年を上回った月は1～5月、7月及び9月であった。対前年同月比で最も増加したのは9月で、消費税増税前の駆け込み需要があったものと思われる。その9月の自転車国内販売動向調査月報には調査対象自転車小売店から、「高額なスポーツ車が売れた」、「消費税増税前の駆け込み需要で高額な電動アシスト車が売れた」、「増税前需要が極端に出た、反動が懸念される」、「在庫不足になってしまった」などといったコメントが寄せられている。

1. 生産

2019年の自転車生産については、台数は88万台で前年比2.8%(24,228台)増となり、金額は566億円で同4.7%(25億円)増となった。

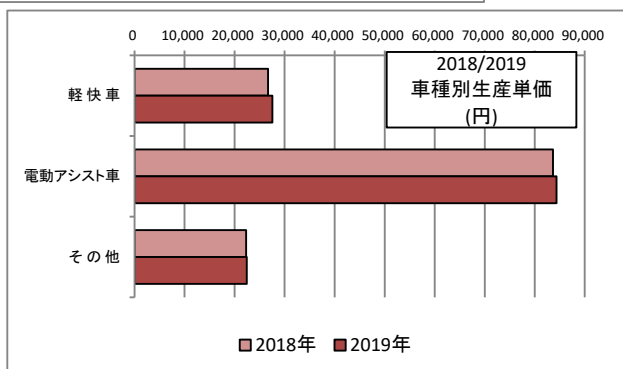
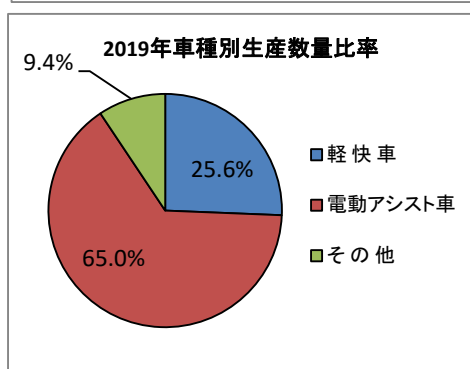
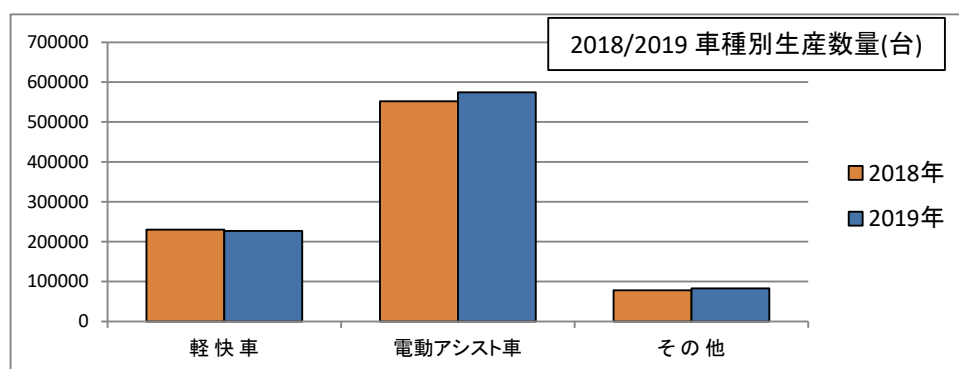
車種別では、台数で軽快車が前年比1.4%(3,306台)減となった一方で、電動アシスト車は同4.1%(22,617台)増、その他が同6.3%(4,917台)増となっている。

平均単価は、軽快車が27,560円(前年比880円上昇)、電動アシスト車は84,355円(723円上昇)、その他は22,449円(137円上昇)といずれも若干ながら上がっている。

【車種別生産】

[単位:数量=台、金額=千円、単価=円]

車種	2019年			前年比		2018年		
	数量	金額	単価	数量	金額	数量	金額	単価
軽快車	226,743	6,249,062	27,560	98.6%	101.8%	230,049	6,137,610	26,680
電動アシスト車	574,537	48,465,266	84,355	104.1%	105.0%	551,920	46,157,970	83,632
その他	82,798	1,858,767	22,449	106.3%	107.0%	77,881	1,737,691	22,312
合計	884,078	56,573,095	63,991	102.8%	104.7%	859,850	54,033,271	62,840

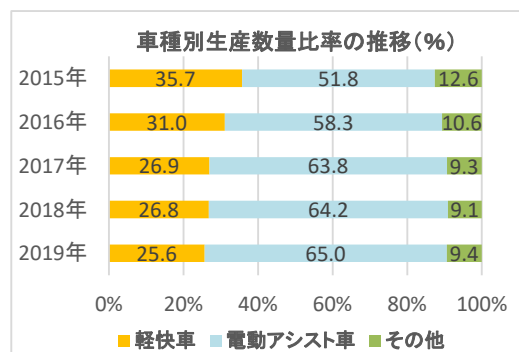


【車種別生産数量の推移(台)】

年	軽快車	電動アシスト車	その他	計
2015年	320,461	464,800	112,834	898,095
2016年	291,545	547,593	99,887	939,025
2017年	239,837	568,025	82,988	890,850
2018年	230,049	551,920	77,881	859,850
2019年	226,743	574,537	82,798	884,078

【車種別生産数量比率の推移(%)】

年	軽快車	電動アシスト車	その他	計
2015年	35.7	51.8	12.6	100.0
2016年	31.0	58.3	10.6	100.0
2017年	26.9	63.8	9.3	100.0
2018年	26.8	64.2	9.1	100.0
2019年	25.6	65.0	9.4	100.0



2. 輸出

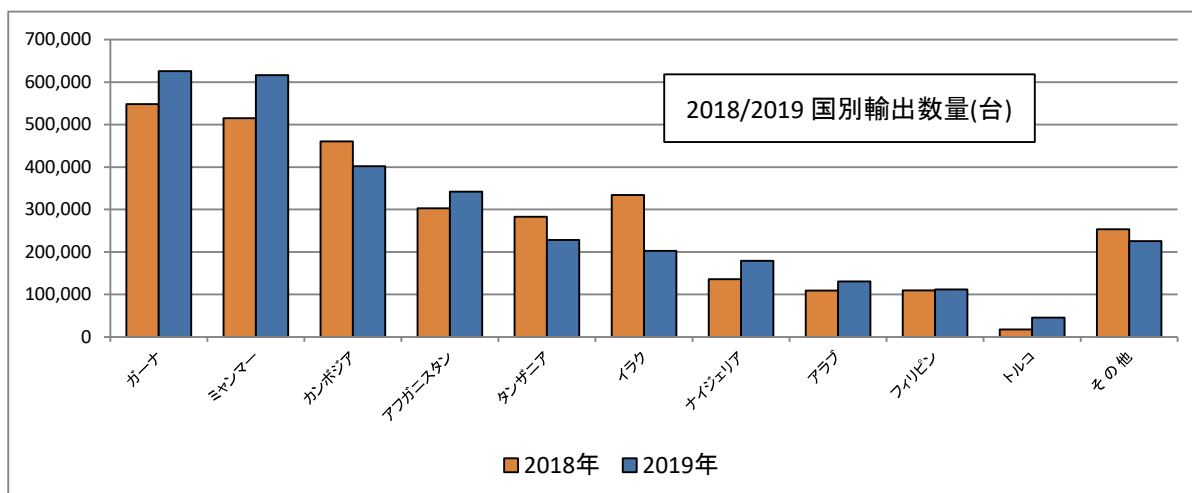
2019年の自転車輸出については、台数は311万台で、前年比1.4%(41,503台)増、金額は54億円で同4.3%(2億円)増となった。平均単価や輸出相手国からわかるように輸出自転車のほとんどは日本で使用された中古自転車であると思われる。

国・地域別では、ガーナ(63万台)、ミャンマー(62万台)、カンボジア(40万台)、アフガニスタン(34万台)が上位を占めている。前年に対しては、トルコ(157.9%増)、ナイジェリア(32.1%増)、ミャンマー(19.7%増)などが増加を示している一方、イラク(39.4%減)、タンザニア(19.4%減)、カンボジア(12.6%減)などは減少している。地域別では、ミャンマーやカンボジアなどのアジア地域(193万台)が62.1%、ガーナやタンザニアなどのアフリカ地域(112万台)が36.2%で、この両地域で輸出全体の98.3%を占めている。

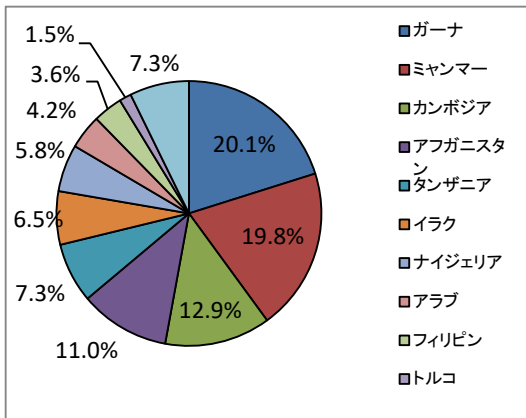
【国・地域別輸出】

[単位:数量=台、金額=千円、単価=円]

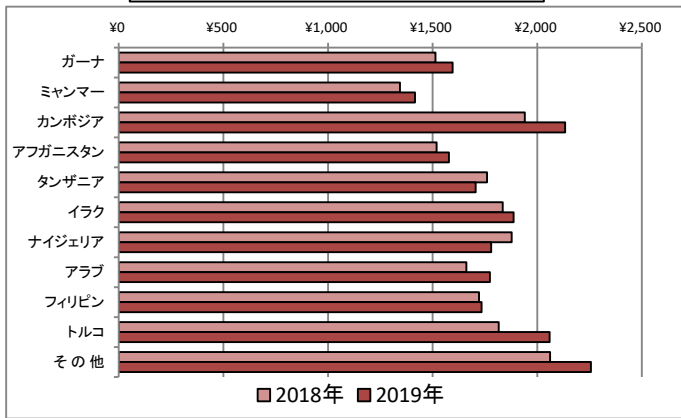
国・地域名	2019年			前年比		2018年		
	数量	金額	単価	数量	金額	数量	金額	単価
ガーナ	625,837	998,419	1,595	114.2%	120.3%	548,107	829,633	1,514
ミャンマー	616,501	872,576	1,415	119.7%	126.1%	515,036	692,186	1,344
カンボジア	402,237	858,158	2,133	87.4%	96.1%	460,292	893,066	1,940
アフガニスタン	342,069	539,753	1,578	113.0%	117.4%	302,825	459,928	1,519
タンザニア	227,975	388,811	1,705	80.6%	78.2%	282,724	497,508	1,760
イラク	202,578	382,220	1,887	60.6%	62.3%	334,289	613,474	1,835
ナイジェリア	179,257	318,978	1,779	132.1%	125.2%	135,655	254,766	1,878
アラブ	130,737	231,882	1,774	119.9%	128.0%	109,014	181,122	1,661
フィリピン	111,616	193,523	1,734	102.0%	102.7%	109,426	188,359	1,721
トルコ	45,632	93,942	2,059	257.9%	292.4%	17,691	32,128	1,816
その他	225,490	508,710	2,256	89.0%	97.4%	253,367	522,207	2,061
合計	3,109,929	5,386,972	1,732	101.4%	104.3%	3,068,426	5,164,377	1,683



2019 国・地域別輸出数量比率



2018/2019 国・地域別輸出単価



3. 輸入

2019年の駆動原動機として電動機を有するモーターサイクルを除く自転車輸入については、台数は624万台で、前年比0.9% (6万台) 増となり、金額は718億円で同2.9% (21億円) 減となった。

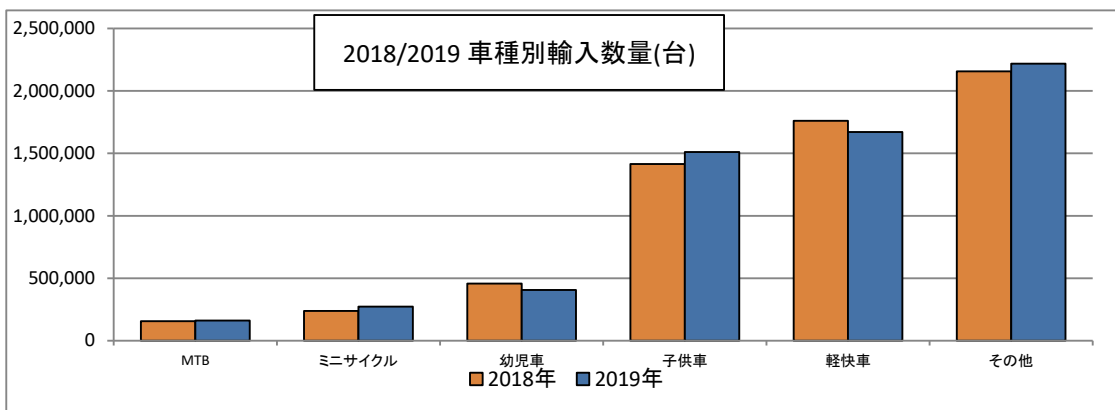
車種別では、MTB(台数で前年比3.4%増)、ミニサイクル(14.8%増)、子供車(6.8%増)、スポーツ車を含むその他(2.9%増)が増加した一方で、幼児車(11.2%減)、軽快車(5.1%減)がそれぞれ減少した。

平均単価は、MTB17,117円(前年比2,401円下落)、幼児車7,275円(208円下落)、子供車8,947円(373円下落)、軽快車9,458円(177円下落)、その他15,043円(924円下落)とそれぞれ下落したのに対し、ミニサイクルは12,513円(242円上昇)と上昇している。

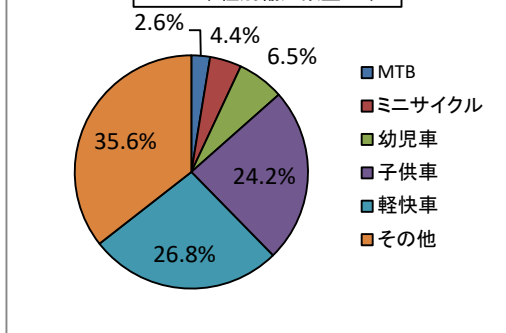
【車種別輸入】

[単位: 数量=台、金額=千円、単価=円]

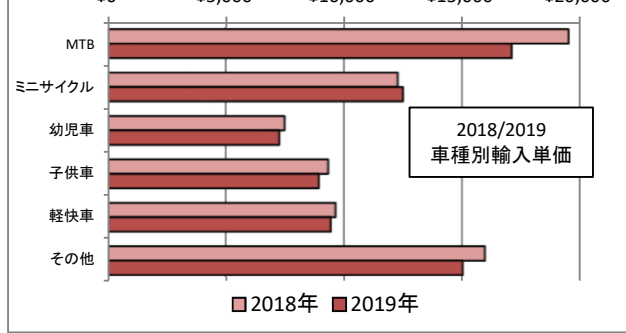
車種	2019年			前年比		2018年		
	数量	金額	単価	数量	金額	数量	金額	単価
MTB	160,977	2,755,409	17,117	103.4%	90.6%	155,758	3,040,073	19,518
ミニサイクル	273,416	3,421,303	12,513	114.8%	117.0%	238,234	2,923,424	12,271
幼児車	405,711	2,951,477	7,275	88.8%	86.3%	456,854	3,418,805	7,483
子供車	1,510,586	13,515,879	8,947	106.8%	102.5%	1,414,315	13,181,323	9,320
軽快車	1,670,668	15,801,881	9,458	94.9%	93.1%	1,760,761	16,964,521	9,635
その他	2,218,363	33,371,719	15,043	102.9%	96.9%	2,156,160	34,427,768	15,967
合計	6,239,721	71,817,668	11,510	100.9%	97.1%	6,182,082	73,955,914	11,963



2019 車種別輸入数量比率



2018/2019 車種別輸入単価



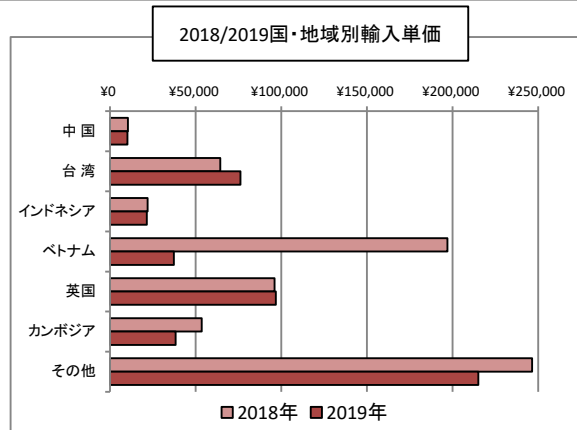
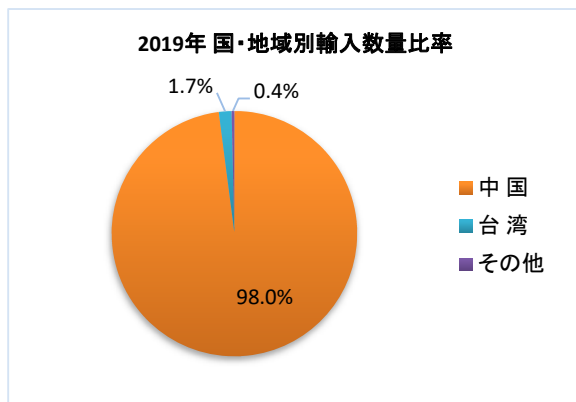
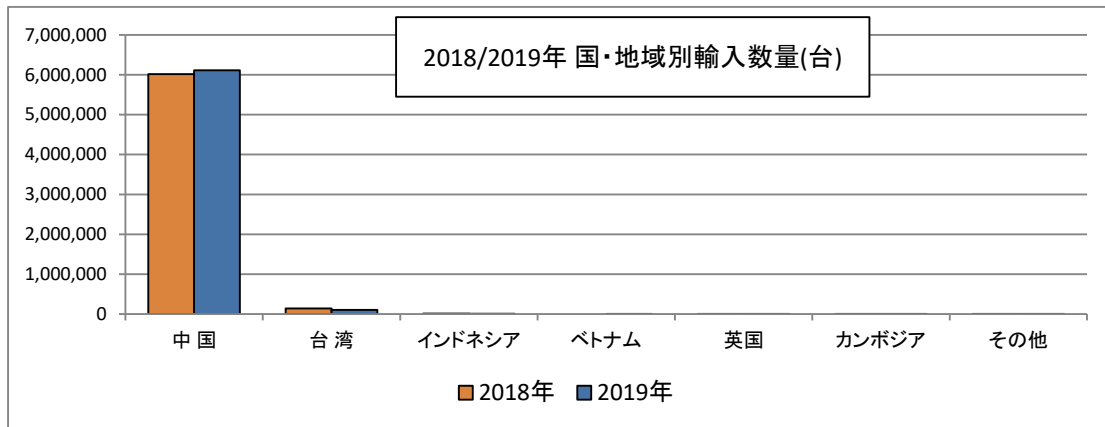
車種別輸入比率は上の円グラフのとおりで、その他(スポーツ車を含む)が全体の35.6%、軽快車が26.8%、子供車が24.2%を占めている。

【国・地域別輸入】

[単位:数量=台、金額=千円、単価=円]

国名	2019年			前年比		2018年		
	数量	金額	単価	数量	金額	数量	金額	単価
中国	6,112,000	62,274,952	10,189	101.6%	98.7%	6,016,462	63,123,299	10,492
台湾	104,527	7,960,432	76,157	73.5%	87.0%	142,148	9,153,422	64,394
インドネシア	9,720	209,504	21,554	84.0%	82.3%	11,577	254,480	21,982
ベトナム	4,210	157,055	37,305	210500.0%	39861.7%	2	394	197,000
英国	2,824	273,350	96,795	69.0%	69.5%	4,095	393,469	96,085
カンボジア	2,503	96,020	38,362	54.2%	38.8%	4,619	247,399	53,561
その他	3,937	846,355	214,975	123.8%	108.0%	3,179	783,451	246,446
合計	6,239,721	71,817,668	11,510	100.9%	97.1%	6,182,082	73,955,914	11,963

国・地域別では、中国からの輸入は、台数は増加したが金額は減少した(台数は前年比1.6%増、金額は同1.3%減)。一方、台湾からの輸入は減少している(台数ベースで26.5%減、金額ベースで13.0%減)。輸入台数全体に占める割合は中国が98%、台湾が1.7%で、この両者を合わせると実に99.7%となっている。



【駆動原動機として電動機を有するモーターサイクルの輸入(参考)】

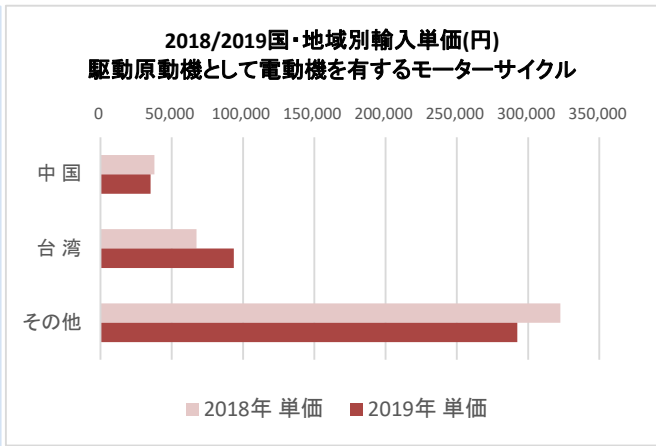
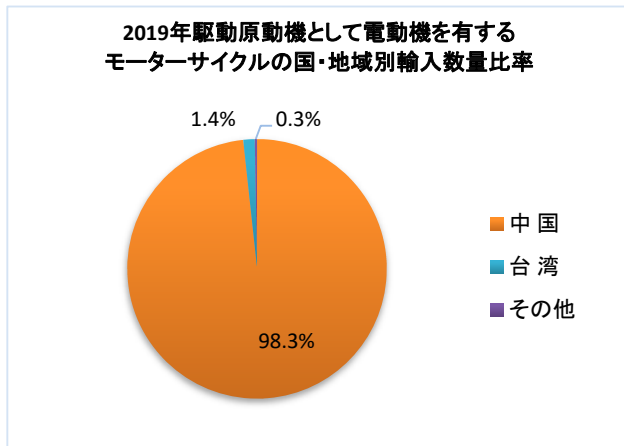
車種	2019年			前年比		2018年		
	数量	金額	単価	数量	金額	数量	金額	単価
駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	383,595	14,058,499	36,649	119.3%	112.3%	321,558	12,513,134	38,914

2019年の駆動原動機として電動機を有するモーターサイクルの輸入については、台数は38万台で、前年比19.3%(6万台)増となり、金額は141億円で同12.3%(15億円)増となった。平均単価は36,649円で前年比2,265円下落した。

【駆動原動機として電動機を有するモーターサイクルの国・地域別輸入(参考)】

国名	2019年			前年比		2018年		
	数量	金額	単価	数量	金額	数量	金額	単価
中国	377,081	13,234,416	35,097	119.1%	110.3%	316,613	11,994,537	37,884
台湾	5,435	508,590	93,577	128.8%	178.9%	4,219	284,310	67,388
その他	1,079	315,493	292,394	148.6%	134.7%	726	234,287	322,709
合計	383,595	14,058,499	36,649	119.3%	112.3%	321,558	12,513,134	38,914

国・地域別では、中国からの輸入は、台数・金額とも増加した(台数は前年比19.1%増、金額は10.3%増)。また、台湾からの輸入も台数・金額とも増加している(台数は28.8%増、金額は78.9%増)。平均単価は中国35,097円(前年比2,787円下落)、台湾93,577円(前年比26,189円上昇)となっている。



4. 国内向け数量

2019年の国内向け自転車数量(生産台数+輸入台数)は712万台で、前年比1.2%(8万台)増となり、金額でも1,284億円で前年比0.3%(4億円)増となった。

車種別では、軽快車(台数で前年比4.7%減)、幼児車(11.2%減)が減少したものの、電動アシスト車(4.1%増)、MTB(3.4%増)、ミニサイクル(14.8%増)、子供車(6.8%増)、スポーツ車を含むその他(3.0%増)はそれぞれ増加している。

平均単価は、MTB17,117円(前年比2,401円下落)、幼児車7,275円(208円下落)、子供車8,947円(373円下落)、その他15,310円(878円下落)と前年比下落を示した一方で、軽快車11,622円(18円上昇)、電動アシスト車84,355円(723円上昇)、ミニサイクル12,513円(242円上昇)は前年比で上昇が示されている。

(注)出荷統計が整備されていないため、ここでは生産と輸入の合計数値をもって「国内向け数量」としている。なお、一般的に生産には輸出分が含まれるが、「2. 輸出」で述べたように輸出のほとんどが中古車であるため、国内向け数量の算出に当たって輸出数量は考慮していない。

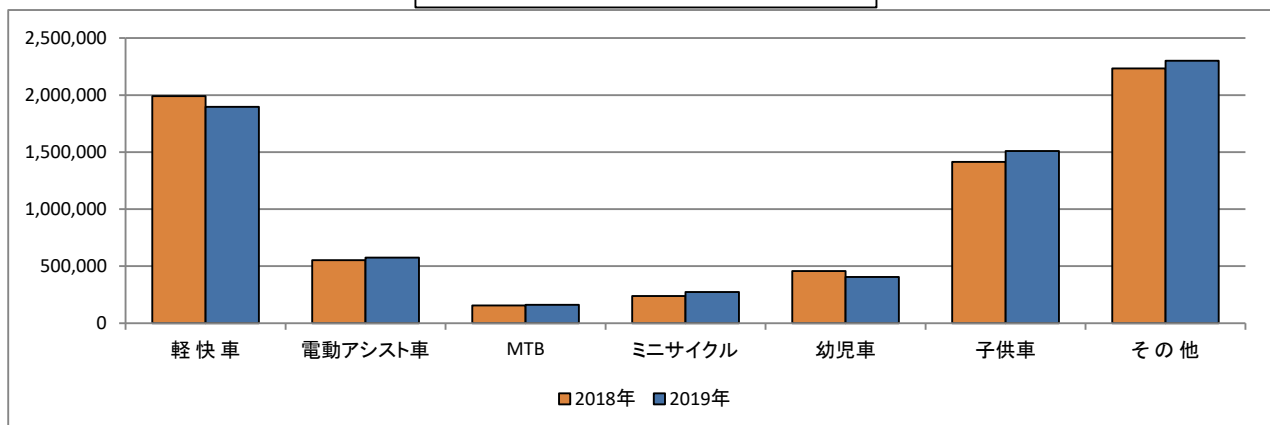
【車種別国内向け数量】

[単位:数量=台、金額=千円、単価=円]

車種	2019年			前年比		2018年		
	数量	金額	単価	数量	金額	数量	金額	単価
軽快車	1,897,411	22,050,943	11,622	95.3%	95.4%	1,990,810	23,102,131	11,604
電動アシスト車	574,537	48,465,266	84,355	104.1%	105.0%	551,920	46,157,970	83,632
MTB	160,977	2,755,409	17,117	103.4%	90.6%	155,758	3,040,073	19,518
ミニサイクル	273,416	3,421,303	12,513	114.8%	117.0%	238,234	2,923,424	12,271
幼児車	405,711	2,951,477	7,275	88.8%	86.3%	456,854	3,418,805	7,483
子供車	1,510,586	13,515,879	8,947	106.8%	102.5%	1,414,315	13,181,323	9,320
その他	2,301,161	35,230,486	15,310	103.0%	97.4%	2,234,041	36,165,459	16,188
合計	7,123,799	128,390,763	18,023	101.2%	100.3%	7,041,932	127,989,185	18,175

※生産と輸入の合計数値をもって国内向け数量としているが、生産統計(経済産業省生産動態統計)と輸入統計(財務省貿易統計)で車種区分が異なるため、ここでは便宜上「軽快車、その他」は生産と輸入の合計数値、「電動アシスト車」は生産数値、「MTB、ミニサイクル、幼児車、子供車」は輸入数値で表している。

2019/2018 車種別国内向け数量(台)



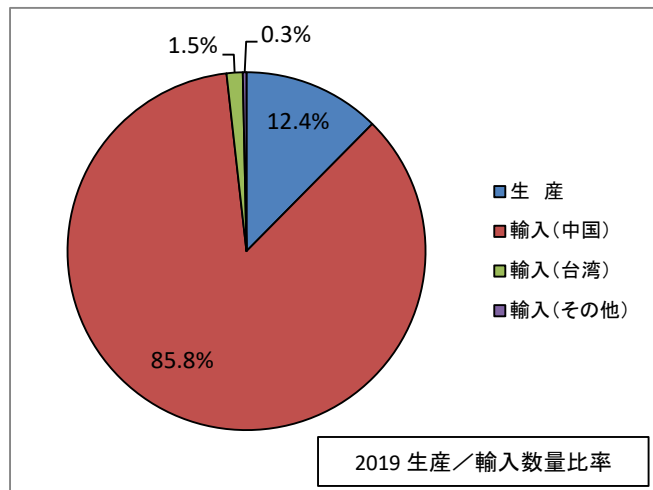
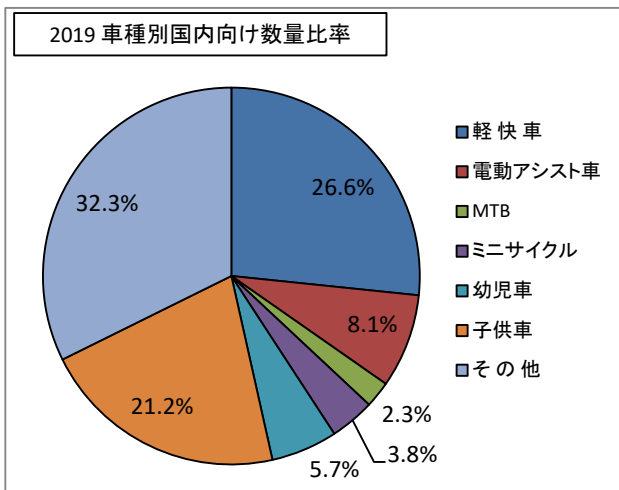
車種別国内向け比率は下左円グラフのとおりで、軽快車が全体の26.6%、電動アシスト車(8.1%)、MTB(2.3%)、ミニサイクル(3.8%)、幼児車(5.7%)、子供車(21.2%)、スポーツ車を含むその他(32.3%)となっている。

生産と輸入の内訳は下表及び下右円グラフのとおりで、国内向け数量全体に占める輸入割合は中国だけで85.8%、台湾・その他を含めると87.6%となり、国内向け自転車の9割弱を輸入車が占めている。

【生産／輸入比率】

[単位:数量=台、金額=千円、単価=円]

生産/輸入	2019年			前年比		2018年		
	数量	金額	単価	数量	金額	数量	金額	単価
生産	884,078	56,573,095	63,991	102.8%	104.7%	859,850	54,033,271	62,840
輸入(中国)	6,112,000	62,274,952	10,189	101.6%	98.7%	6,016,462	63,123,299	10,492
輸入(台湾)	104,527	7,960,432	76,157	73.5%	87.0%	142,148	9,153,422	64,394
輸入(その他)	23,194	1,582,284	68,220	98.8%	94.2%	23,472	1,679,193	71,540
合計	7,123,799	128,390,763	18,023	101.2%	100.3%	7,041,932	127,989,185	18,175



(出所: 経済産業省・生産動態統計、財務省・貿易統計)

以 上